

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉 1-1-18 いづみ荘 103
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253



豊かな狛江

第 310 号（2026 年 5 月号） / 2026 年 5 月 1 日発行

豊かな狛江をつくる市民の会 2026 年度総会（案）

2026 年 5 月 16 日（土）14 時
東京土建狛江支部会館

【前回総会（2025 年 5 月 17 日）からの経過】

永く共同代表を務めた増田善信さんが6月9日逝去されました。

6月22日投開票の都議会議員選挙にあたり北多摩3区（狛江市・調布市、定数3）で立候補を予定していた5人のうち、都政転換を訴える田中とも子さんを支援・推薦することを決め、田中さんは第2位で当選しました。

青年劇場「あの夏の絵」公演（7月3日エコルマホール）の「成功させる会」に加わり、600枚を超えるチケット普及に貢献しました。

対市予算編成要望を社保協がまとめ、2025年11月18日市に提出し、回答が2026年度予算成立後の今年3月27日に文書（メール）で届きました。

2025年12月市議会で「非核三原則堅持を求める意見書」が1票差で採択されました。

2026年1月23日解散、2月8日投開票の総選挙では、直前に新党「中道改革連合」が結成され、それまでちょこみた@22区市民連合が追求していた野党共闘はできませんでした。

市民センターが改修を終え、2025年秋に再開されましたが、それに合わせて公民館・地域センターの団体登録・予約システムが「変更」され、多くの利用者が困惑しています。

昨年12月、市議会運営委員会で突然、議員定数削減が提起され、豊かな会が600を超える賛同署名を添えて「定数削減反対・維持と慎重審議求める」陳情を提出しましたが、3月3日の議会運営委員会で否決され、同時に採択された「定数削減求める」陳情を理由に、25日本会議で「定数条例」が「改正」され、2027年の統一地方選挙で定数22が20に減らされます。

今年4月1日施行された「子どもの権利条例」の活用が注目されます。

毎月拡大世話人会を開催し、会報「豊かな狛江」を毎月発行しています。

戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会、こまえ社保協、ちょこみた連絡会、毎月3日のサイレントスタンディング、「九の日」行動、改憲許さない国会大行動などに参加しています。

【2026 年度活動方針（案）】

I、市民本位の狛江市政の実現に向けて広範な団体と連帯します

◇「市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」に違反する市政運営を許さない取り組みを推進します。

市民福祉切捨て市政との対抗・反撃、市民派市政めざす市民運動を進めます。

◇《こまえ社会保障推進協議会》の運動に積極的に参加します。

◇市政転換できる市民派市長誕生のため、候補者擁立又は共闘をめざします。

◇市議会議員選挙で市民派市政をめざす市議会議員・候補者を支援(推薦)します。

Ⅱ、9条改憲阻止、都民のいのちと健康を守るため、防災や医療を充実する都政に転換する

◇《戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会》に結集し、9条改憲発議に反対する運動にとりくみます。

◇《戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会》が参加する《市民連合“ちょこみた”@東京22区》を通して、次の総選挙において自民党政治を変えるため、東京22区における“市民と野党の統一候補”を追求します。

◇都知事選挙、都議会議員選挙で都政を転換する議員・候補者を支援(推薦)します。

Ⅲ、《豊かな会》の組織態勢(案)・・・略

Ⅳ、2025年決算・2026年予算(案)・・・略

市議会第1回定例会報告

2月20日から3月25日の日程で第一回定例会が開かれました。今回は、新年度予算を中心に報告します。

新年度予算で最もやらなくてはならないことは、物価高騰で厳しい市民生活を守っていくことです。

2026年度の一般会計予算案は過去最大の予算規模でした。予算の中には、日本共産党狛江市議団が求めてきた低所得者層へのエアコン購入費助成、デマンド交通(乗合タクシー)実証運行の実施、若年健診等、児童館の日曜開放の試行実施等が盛り込まれました。ほかにも2つ目の病児保育室の開設や岩戸北での「子育てひろば」の実施等など、市民要望に応えるものもあり評価できる施策も盛り込まれています。

一方で、市民生活を守るための施策が不十分なものでした。年間の黒字は、この10年間の平均をみると、年間約14億円になっています。貯金も10年間で約54億6千万円の増加となり、市財政は一定の余裕が出ています。更なる支援のために市財政を活用するべきです。

そのため、日本共産党狛江市議団は予算の編成替え動議を提出しました。

物価高対策のための支援では、ひとり親家

日本共産党市議 岡村しん

庭への家賃補助制度の創設、難聴者への補聴器助成額の引上げ(268万円)、生活保護受給者への夏季見舞金の支給、障がい者への外出支援金支給額の拡大等、国民健康保険会計への繰出し金を増額するなど盛り込みました。

また、誰もが健康に暮らしていくための予算として、带状疱疹ワクチン接種費助成の対象者増、PFAS調査の拡充、災害対策として、トイレカーの購入、感震ブレーカーの購入・設置費用を助成、家具転倒防止器具の購入・設置費用を助成、**教育費の負担軽減**として、不登校の児童生徒や私立・国立等の小中学校に通う児童生徒への学校給食無償化相当額の支給や修学旅行費の無償化なども盛り込みました。

そして昨年度引き上げられた**議員報酬を元に戻す予算**も盛り込まれています。

これらのことに必要な予算は、総額で1億6753万円です。毎年約1億もの黒字を出していることを考えれば、十分に可能です。

また、予算委員会の中では「市民参加」についても質疑しています。

昨年度、「狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」の逐条解説である基本的な考え方の文言を解釈の整理と称して変更さ

れました。これは、市民参加と市民協働を大きく後退させるものです。市民参加、市民協働を大切にする、これは本来条例があろうとなかろうと市は重んじるべきことです。

また、「平和」についても質疑しました。市長は「狛江市平和都市宣言」については尊重すると答弁したものの、非核三原則については守ると明言しませんでした。

以上の理由で、日本共産党狛江市議団は編成替え動議に賛成し、市提出の予算に反対しました。残念ながら、編成替え動議はほかに賛成者がおらず、賛成多数で市提出の予算が可決しました。

ほかにも本定例会では、豊かな会提出の議員定数を維持するための陳情のほかにも、定数削減を求める陳情が提出されました。結果として議員定数削減の陳情が可決、定数削減のための条例が可決されています。議員定数削減は、議員の身を切る改革ではありません。市民の意見・要望を切り捨てるものです。

議員定数削減は、12月に突然、自民党・明政クラブから議員定数削減の提案があつて以来、臨時の議会運営委員会なども通じて議論がされてきました。しかし、議会は市民のものであるにもかかわらず市民参加の機会もないままに定数削減が決められてしまいました。

議員定数を削減すれば、市政のチェック機能が弱まり、市民意見も届きづらくなります。狛江市の議員数は、多摩地域の類似団体との人口比で見ても平均並みです。将来人口が減るからと議員定数を減らしておくというのは市議会の役割を軽視するものです。

残念ながら、定数は削減されてしまいました。が、今回、多くの皆さんが傍聴に駆けつけてくれたことに、私たち市議団は本当に励まされました。あらためて感謝を伝えるとともに、今後も皆さんと協力して市民の声の届く市政を作っていくことに全力で取り組みたいと思います。

修学旅行費無償化など市民生活支援拡充を求める陳情否決

「こまえ社会保障推進協議会(こまえ社保協)」は市議会に「物価高騰の中、市民生活を守る施策の充実を求める陳情」(署名数365筆)を提出しましたが、自民、公明、分・維新、立憲などが反対し否決されました。

陳情は修学旅行無償化や補聴器補助の拡充、ひとり親家庭への家賃補助、生活保護世帯への夏季見舞金支給など求めています。

日本共産党は荒木てつ議員が「修学旅行に保護者は6万円を超える負担をしている。無償化は憲法の理念を実現する施策である」、西村あつ子議員が「補聴器は高額であり都補助の上限

額も14万4900円。家賃上昇でひとり親家庭の負担が重い。電気代高騰で生活保護世帯の夏季見舞金必要」と賛成討論を行ないましたが、他党は議論もしないまま否決しました。

また、こまえ社保協が昨年提出した2026年度予算についての共同要望書に対しては、かつては行われていた担当課長との話し合いも一切行われぬまま、予算が議会で承認された後に書面で回答が送付されただけです。市民の声を聞こうとしない市の態度は本当に許せません。

調布、三鷹でもペンライト集会

2月の総選挙後、高市政権による改憲の動きに対し、国会前やターミナル駅前で抗議やアピール行動が続いています。

4月8日(水)夕、三鷹駅南口ペDESTリアンデッキに600人が集いペンライトスタンディング。同時に行われた国会正門前の行動をプロジェクターで映し出して、「戦争反対」をコールしました。

4月18日(土)は調布駅前の平和憲法を守る緊急アクション in 調布に300人がペンライト集会。木下やす子(生活者ネット)、岸本なお子・田村ゆう子

4月22日ちよこみた連絡会で交流

(共産)、鈴木ほの香(れいわ)の4市議、田中とも子(共産)都議、山花郁夫(中道)元衆院議員がスピーチしました。

調布は木下やすこ市議が7月5日投票の市長選挙出馬を表明しました、長友市政が市民に知らせず米軍調布基地跡地「留保地」をFC東京練習場にしようといふことを市民に訴えます。

次の連絡会は7月13日(月)14時からたづくり601号室です。

(東野川 前土肥保)

市政を考える会

もっと狛江の街を知ろう 第5回学習会 「対話による行政」で暮らしはどう変わったか ~杉並に学ぶ~

4月25日(日)14時~16時15分に開かれた市政を考える会の第5回学習会は、4年前杉並区で岸本聡子区長を誕生させた立役者で、今も岸本区政を支えている、アジア太平洋資料センター(PARC)の共同代表の内田聖子(しょうこ)さん、狛江で16年間市民派市政を行った矢野裕(ゆたか)さんをお呼びして、その経験を伺いました。

岸本区長と内田さんは以前から研究や仕事でつながりがあり、たまたま帰国と区長選のタイミングが合い、研究課題が新しい公共だったこともあって挑戦することになったそうです。原水爆禁止の署名活動の出発点など様々な住民運動が行われている杉並でも、区長は住民の声を聞かない人が続き、「対話から始まるみんなの杉並」という構想が受け入れられ、投票率のアップ、特に30代女性の投票率が高かったことも後押しになったのではないかとのことでした。選挙戦は、1人1人の課題を聞いて政策を作る、どんな人も気軽に参加できる風通しの良い運動を心がけ、1人街宣など新しい取り組みもみんなで共有して力をもらいながら進めたことが紹介されました。区長になってからも対話、タウンミーティングを重視、区民が提案した政策を区民が選択して実施するなどの実践が話されましたが、行政の古い体質との闘いもあり、市民の声が力になるということでした。

矢野さんからは、少数与党であったため、市民との公約の実現も野党との折り合いをつけねばならず苦労したこと、最初の予算が調整を重ねた上で1点の不一致で否決されたが、市民が予算通せ運動を巻き起こし、ビラ、宣伝、署名で野党を圧倒し、全く同じ予算案を全会一致で認めさせたこと、そのことで市民の力に頼るといふことが腹の底からわかったというお話がありました。矢野さんも市民との対話を続け、情報公開条例や市民の参加と協働条例など、市長が変わっても守られる基本を作ったことが話され、市民運動の力になっていると感じました。狛江では、今それが壊されつつあることも実感しています。

ちょうど調布で7月の市長選挙に生活者ネットの市議さんが立候補を表明し運動を始めたところで、7人もの方々が参加され、具体的かつ核心となる質疑が行われ、大変参考になったと述べられていました。他の参加者の方のアンケートでも、一人一人との対話、日頃の市民運動、楽しく活動することがエンパワーメントになることなど学びになったという声が寄せられています。

狛江にとっても市長選は喫緊の課題です。一人一人の声を聞く市政を実現したいですね。

会場：中央公民館講座室

参加者は48名でした。(周東)

5月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、280部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りです。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(日)	有明防災公園	2026 憲法集会 11時狛江駅改札前集合 Silent Standingはありません	戦争なんてイヤだ！市民実行委員会・平和憲法を広める狛江連絡会・こまえ九条の会
9日(土) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
10日(日) 13時30分～ 15時45分	中央公民館講 座室	第39回狛江母親大会 「戦争はだめ！高市政権の改 憲策動をとめよう いまこそ 憲法9条」	狛江母親大会実行委員会
12日(火) 14時～	セントラルハ イツ和室	「豊かな狛江」6月号 編集会議兼事務局会議	
16日(土) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	豊かな狛江を作る市民の会 2026年度総会	会員の皆さん、ご出席ください。
18日(月) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市民 実行委員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
21日(木) 13時30分～ 15時30分	中央公民館	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》合同世 話人会	初めての方も気軽にご参加ください。
25日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
26日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 6月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。
26日(火) 10時～12時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社会保障推進協議会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
27日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部が中心。第4水曜日。
30日(土) 13時30分～ 14時45分	狛江駅前 市内デモ	平和と暮らしを守れ！ 駅前リレートーク&市民デモ	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会

玉翠園跡の石垣保存の陳情 賛成ゼロで不採択！

～4/17日9～10時 建設環境常任委員会～

和泉本町 西尾真人

予想されていたとはいえ、ショックでした。陳情は最初に私で、次に井上和彦さんでした。井上さんは残されている石垣の郷土資料としての大切さを切々と訴えました。私は根川の水害対策の実施を前提に、「根川公園へのポンプ場設置にあたっては、玉翠園跡の石垣を粕江の大切な郷土資料として位置づけ」現地保存を求めました。そして、玉翠園の近現代史を知った経過と残された石垣は歴史の想像を掻き立てることを述べ、ポンプ場の場所の再検討や現計画でも位置をずらすことなどで、保存の可能性を検討して欲しいと訴えました。

当日は陳述者への質問は禁止され（なぜか習わしで、陳述者との討論ができず。私の方から聞きたいことも沢山あった。）、議員から担当部署（環境部下水道課等）に質問の上、討論と呼ぶ態度表明があり、議長から「賛成の挙手なし」で、標記のような結果になりました。井上さんの陳情も同様です。

陳情を「理解する」とした議員もいましたが、「やっとの思いで根川の洪水対策を実施できることになり、一日も早い建設を市民は望んでいる」と陳情に反対しました。「理解する」にカギ括弧を付けたのは理解されていないと思うからです。なぜ、位置移動が出来ないのか、2月初めの説明会でも、その場でも明確な理由の説明がないまま「できない」との結論だけでした。それで議員は納得！私は心の中で「理由は！」と叫びました。

私は陳述の最初に、根川の水害対策の実施を前提にしていることを表明しました。現設計でしかできないなら、その理由を説明していただければと思います。

市は石垣保存のことをほとんど考慮しないまま、ポンプ場設計を行ったと、陳情を終えた今でも思われてなりません。

**平和と暮らしを守れ！
憲法改悪反対！
駅前リレートーク&市民デモ**

5月30日（土）

13時30分開会 粕江駅北口
リレートーク後 南口移動
14時15分 デモ出発予定

デモコース（約30分）
粕江駅南口ロータリー近くのつつじ児童遊園⇒世田谷通り左折⇒粕江三叉路左折⇒市役所⇒和泉中央児童遊園解散

主催：戦争なんてイヤだ！こまえ市民実行委員会

第39回粕江母親大会

戦争はだめ！

高市政権の改憲策動をとめよう

いまこそ憲法9条

講師：斎藤小百合

（憲泉女学園大学教授）

5月10日（日）

13時30分から15時45分

（開場13時）

中央公民館講座室

参加費：500円

粕江母親大会実行委員会



新署名 私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します

— 憲法9条改悪に反対する請願署名 —

世界のあちこちで戦争・紛争が続き、終わりが見えない中、日本でもさらなる火種がまき散らされています。

高市内閣は、2026年2月の衆議院総選挙で得た「数の力」にたのんで、前のめりに戦争の準備に突きすすんでいます。防衛費はGDP比約2%とこれまでの2倍になり、そのための増税も進んでいます。沖縄や南西諸島をはじめとして日本全国の自衛隊基地で、ミサイルの配備などの増強が行われています。

これは、周辺国との緊張をあまり、戦争の危険をむしろ高めるものとして、基地のある地域や周辺国から心配の声があがっています。

日本も明治以降、戦争ばかりしてきました。第二次世界大戦でアジアの人びとを2000万人以上殺し、日本人を約310万人死なせました。更なる軍備増強は、周辺国に日本の再軍備化への警戒心を植え付けて緊張を高めるだけです。

私たちは、過去の戦争の反省の上に、戦争を放棄して軍隊を持たないと決めた憲法9条が、今こそ大切だと考えます。

「唯一の戦争被爆国」である日本は、すべての戦争がなくなるように世界に対して率先して働きかけるべきです。そのためには憲法9条

を堅持して、戦争をなくすための努力をするべきです。しかしいま、政府からは核武装を唱える声が聞こえ、国会では、憲法を変えるための条文起草委員会を憲法審査会に設置する動きが始まっています。

私たちは、戦争につながる憲法9条への自衛隊明記、そして政府に権力を集中させて、人権保障と権力分立を停止させる緊急事態条項の導入に反対して、以下の項目を要求します。

請願事項

1. 戦争準備の憲法9条改悪と、緊急事態条項を導入する改憲をやめること

2. 衆参の憲法審査会に改憲案の起草委員会を設置しないこと

<呼びかけ団体>

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

改憲問題対策法律家6団体連絡会

9条改憲NO!全国市民アクション

九条の会

憲法9条を壊すな!実行委員会

戦争する国づくりストップ!憲法を守り・いかす共同センター

紙芝居「戦争と狛江の子ども達」継承グループからのお知らせ

かち！かち！ 紙芝居だよ～！
「むかし 狛江で」

◎むいから民家園 子どもの日の行事に参加

5月5日（祝）10：30～ 長屋門前

○紙芝居 「カッパのクー助」「こまえのきつね」

「トビウオのぼうやはびょうきです」

○歌と歌にまつわるお話 ○手遊び

○きみも紙芝居を読んでみる？

◎ほこみちステージ（狛江駅北口）

むかし、 狛江にもくうしゅうがあってね…

5月17日（日）15：00～

○紙芝居「戦争と狛江の子ども達」

グループ以外の方や小学生が演じます。お楽しみに。

その他、平和やむかしのお話も予定しています。

○みんなで歌おう

大熊啓さん（シンガーソングライター）の歌とお話



九の日行動などで新署名

狛江駅北口で

戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会、
平和憲法を広げる狛江連絡会・こまえ九条
の会

4月3日(金)は6人がサイレントスタンディング、
9日(木)は28人が参加して、4月1日に始まった新
しい署名「私たちは戦争につながる憲法改悪に反
対します」をよびかけました。

3日は6人から署名を、9日は6人がリリースピ
ーチし38人から署名をいただきました。「私の親は
広島で被爆した。絶対戦争してはならない」、引き
返して「高市さんは危険」という方や、3人連れの高
校生も自ら近寄って来て署名。男子高校生は「徴
兵制になったらイヤだ」と真剣でした。

(東野川 前土肥保)



狛江の風物誌



カワセミ

2026/4/13 野川金子橋付近にて撮影。数年ぶりにカワセミに出会った。まだ小さいが、一人前の顔立ち。菜の花の黄色に目立つ。白い特徴的な羽毛が映える。しばらく、全く動かない。
(和泉本町 西尾真人)